

「迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威」展示のお知らせ

足立区生物園むしむしコーナーにて、サクラなどの樹木を食い荒らし、枯死させ問題となっているクビアカツヤカミキリという特定外来生物にスポットを当てた展示を行ないます。

概要

近年、クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*) という外来種のカミキリムシが日本で目撃されています。6年前に愛知県で初めて確認され、今では関西から関東まで被害が及ぶようになりました。メス1匹が1000個ほどの卵を産み、その幼虫がサクラやウメなどの生きた樹木に入り込み、内側を食べることにより木を次々に枯らすという甚大な被害が広がっています。その猛威により2018年1月15日に環境省により**特定外来生物**に指定されました。

今回、生物園では、クビアカツヤカミキリの生態を伝え、被害を最小限に防ぐための普及啓発とした企画展示を実施致します。



展示の内容

展示期間：5月9日～7月16日

「生態の特徴」「被害の詳細」「拡大する分布」「国の防除対策」そして「私たちにできること」という様々な視点からクビアカツヤカミキリの被害問題を提起します。さらに、森林総合研究所や日本大学生物資源科学部から貴重な資料の提供や内容の指導を頂き、最新の状況を伝える展示を実現しました。



成虫の公開展示予定

クビアカツヤカミキリは孵化して2～3年（時に1年）で成虫となり、5月下旬～7月をピークに樹外へ現れます。通常、特定外来生物は生体の飼育や移動が禁じられていますが、生物園は環境省の許可を得て6月の初旬より成虫の展示を行う予定です。生きたクビアカツヤカミキリを観ることができ貴重な機会をご提供できると考えています。



■足立区生物園とは

生物園は、自然の生き物たちとの"ふれあいの場"です。"いのち"の営みを続ける生き物たちとの心温まる交流を通じて、生命のすばらしさ、尊さを存分に感じていただけるよう、工夫をこらした展示やイベントを行っています。また、いつでも聞ける解説員による生きものの解説コーナーもあります。そして自然環境の大切さ、自然との"共生"について考えていただくことをめざしています。

■本件に関するお問合せ先

足立区生物園 広報担当：大川 昆虫飼育担当：腰塚
〒121-0064 東京都足立区保木間2-17-1

TEL：03-3884-5577 FAX：03-3884-8996

E-mail：info@seibutuen.jp URL：http://www.seibutuen.jp/

情報掲載・取材していただく場合は、ご連絡ください。